

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和8年第21週 (ARIのみ第20週) の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例。  
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：梅毒 3 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	肺結核	なし
			70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	60歳代	男	結核性心膜炎	胸痛
			90歳代	女	結核性胸膜炎	呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O157(VT2)
			30歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT2)
		高鍋	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O115(VT1)
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、硬性下疳、梅毒性バラ疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹、その他
	百日咳	高鍋	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は404人(定点当たり26.5)で、前週比83%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナであった。

また、第20週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,202人(定点当たり42.9)で、前週比157%と増加した。

#### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は66人(4.4)で、前週比105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(3.2)の約1.4倍であった。年齢群別は4歳から7歳が全体の約6割を占めた。

#### 【感染性胃腸炎】

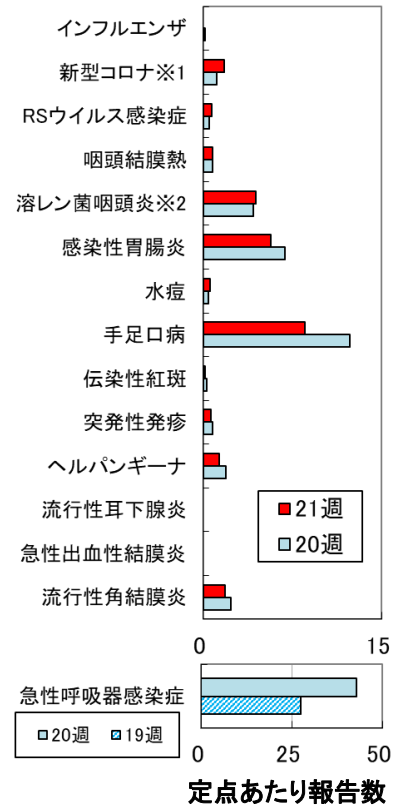
報告数は85人(5.7)で、前週比83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(9.7)の約0.6倍であった。年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

#### 【手足口病】

報告数は128人(8.5)で、前週比69%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5.2)の約1.6倍であった。年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

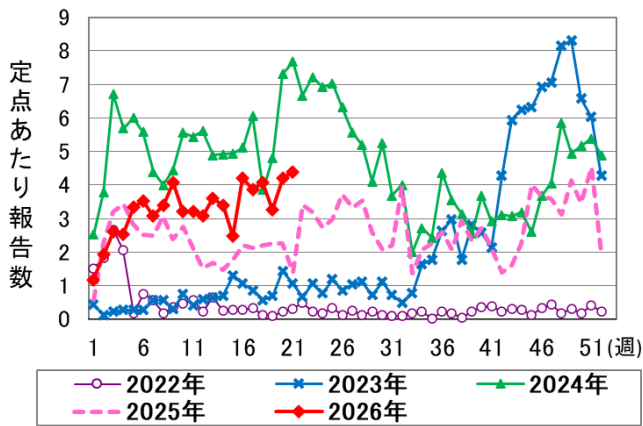
\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》



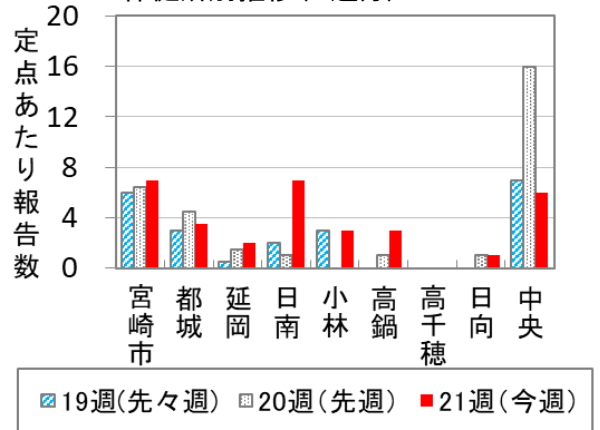
※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

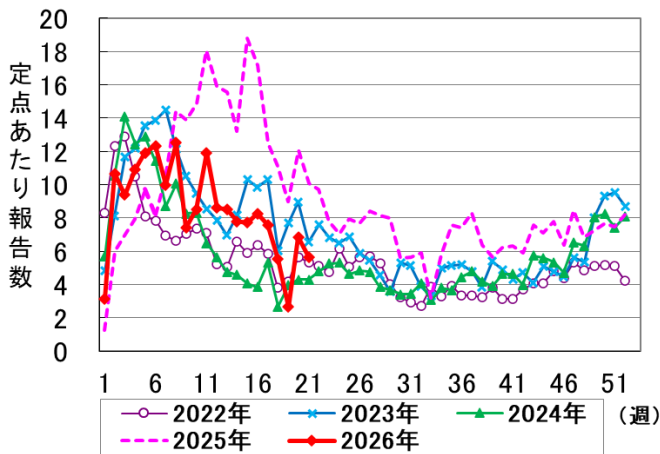


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

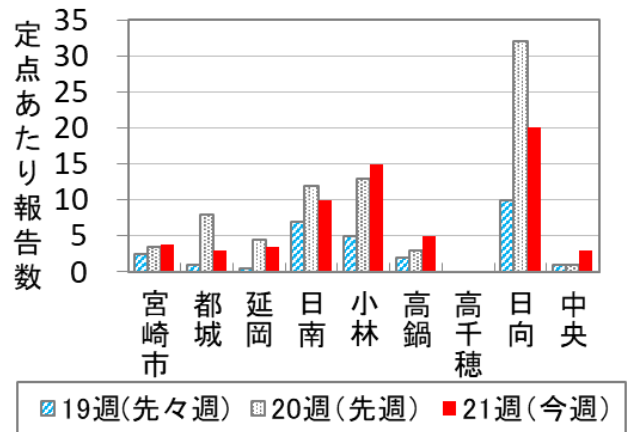


感染性胃腸炎 発生状況

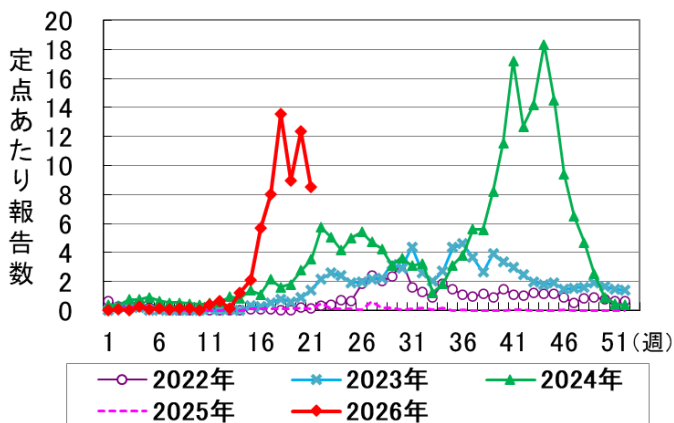


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

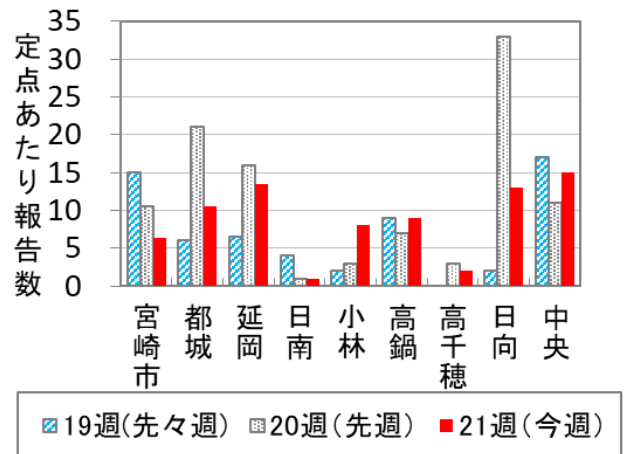


手足口病 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★  
報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(6.4)
都城	手足口病(10.5)
延岡	水痘(1.5)、手足口病(13.5)、 流行性角結膜炎(10.0)
日南	なし
小林	手足口病(8.0)
高鍋	咽頭結膜熱(3.0)、手足口病(9.0)
高千穂	ヘルパンギーナ(8.0)
日向	感染性胃腸炎(20.0)、水痘(1.0)、手足口病(13.0)
中央	咽頭結膜熱(5.0)、水痘(1.0)、手足口病(15.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)
- ・流行性角結膜炎(8)

\* 流行注意報レベル基準値 \*

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(第20週:5月11日～5月17日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		2	
RSウイルス	A型	1	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		2	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		8	
受付検体数		13	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 5 月 25 日までに検出分)

★細菌

報告なし

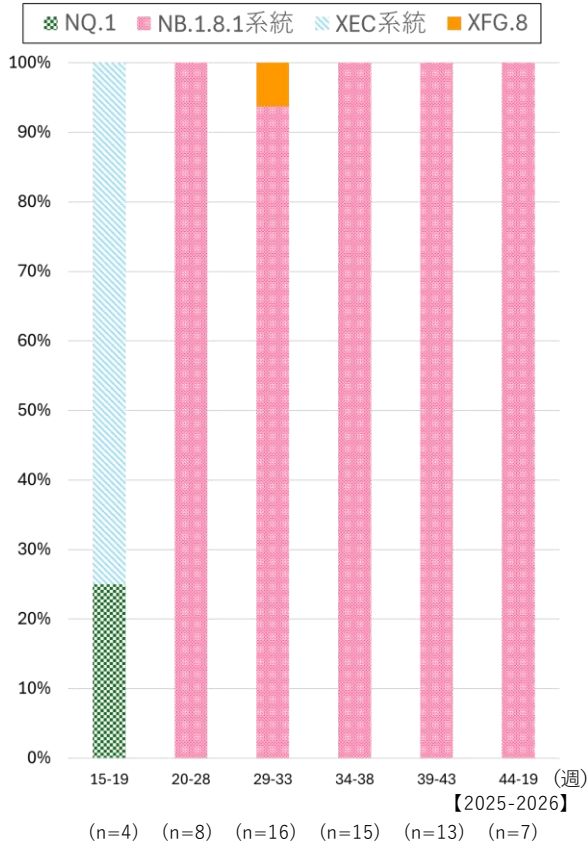
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhino virus A	40歳代	男	2026.04.01	麻しん疑い、38.4℃、関節痛、筋肉痛、咽頭炎、咽頭痛、紅斑、急性気管支炎	咽頭ぬぐい液	2026.05.18
Parvovirus B19	5～9歳	女	2026.04.07	麻しん疑い、発疹、コプリック斑疑い、倦怠感	咽頭ぬぐい液	2026.05.12
Parvovirus B19			2026.04.07		血液	2026.05.12
Parvovirus B19			2026.04.07		尿	2026.05.12
Parvovirus B19	5～9歳	男	2026.04.22	麻しん疑い、39℃、紅斑、下痢	血液	2026.05.25
Parvovirus B19			2026.04.22		尿	2026.05.25
Adeno virus C89※	0～4歳	女	2026.03.23	化膿性扁桃腺炎、咽頭痛、咽頭炎、扁桃炎、気管支炎、39.3℃	鼻汁	2026.05.18

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



○ 2025年第44週から2026年第19週はNB.1.8.1系統が100%であった。

NB.1.8.1はJN.1株とXDE株の組換え体であるXDV株から派生した変異株である。

※ 衛生環境研究所においては、宮崎県感染症発生病動向調査事業実施要綱に基づき、急性呼吸器感染症（ARI）の病原体定点から提出された検体を用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を実施している。

なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

## ✚ 全国 2026 年第 20 週の発生病動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	254 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	65 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	11 例	エムポックス	5 例
	重症熱性血小板減少症候群	10 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	3 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	20 例	レジオネラ症	38 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	16 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	5 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	66 例	水痘（入院例）	18 例	多剤耐性緑膿菌感染症	6 例
	梅毒	147 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	133 例	風しん	1 例	麻しん	17 例

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 157%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 131%と増加した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,828 人(3.0)で前週比 188%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (2.8)の約 1.1 倍であった。佐賀県(7.6)、鳥取県(7.1)、奈良県(6.5)からの報告が多く、年齢群別では4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 11,317 人(5.0)で前週比 162%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (6.5)の約 0.8 倍であった。島根県(10.4)、富山県(8.1)、岐阜県(7.9)、石川県(7.9)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第21週(05月18日～05月24日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	33	50	24	2	5	7		4	1	1	6
	定点当り	1.18	1.79	2.67	0.50	1.67	3.50	0.00	2.00	0.50	0.50	3.00
RSウイルス感染症	報告数	8	11	3		2					4	2
	定点当り	0.53	0.73	0.60	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	12	12	1	3				3			5
	定点当り	0.80	0.80	0.20	1.50	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	63	66	35	7	4	7	3	3		1	6
	定点当り	4.20	4.40	7.00	3.50	2.00	7.00	3.00	3.00	0.00	1.00	6.00
感染性胃腸炎	報告数	103	85	19	6	7	10	15	5		20	3
	定点当り	6.87	5.67	3.80	3.00	3.50	10.00	15.00	5.00	0.00	20.00	3.00
水痘	報告数	7	9	4		3					1	1
	定点当り	0.47	0.60	0.80	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
手足口病	報告数	185	128	32	21	27	1	8	9	2	13	15
	定点当り	12.33	8.53	6.40	10.50	13.50	1.00	8.00	9.00	2.00	13.00	15.00
伝染性紅斑	報告数	5	2				1					1
	定点当り	0.33	0.13	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	12	10	5		3	1	1				
	定点当り	0.80	0.67	1.00	0.00	1.50	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	29	20	3	2	6				8		1
	定点当り	1.93	1.33	0.60	1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	8.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	11	1		10						
	定点当り	2.33	1.83	0.33	0.00	10.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第20週(05月11日～05月17日)

		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	768	1202	275	195	149	61	112	63	57	167	123
	定点当り	27.43	42.93	30.56	48.75	49.67	30.50	56.00	31.50	28.50	83.50	61.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～21週 保健所受理分)

2類感染症	結核	57例(5)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例(3)										
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例						
	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	3例								
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例						
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例	水痘(入院例)	4例						
	梅毒	24例(3)	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例						
	百日咳	36例(1)	麻疹	1例								

( )内は今週届出分、再掲